

令和 6 年度 第 3 回群馬支部評議会 議事概要報告（速報）

開 催 日	令和 7 年 1 月 17 日（金） 14：00～16：00
開 催 場 所	前橋本町スクエアビル 8 階
出 席 者	齋藤評議員、坂庭評議員、坂本評議員、高橋評議員、細野評議員、宮寄評議員、吉田評議員（五十音順）
議 題	1. 令和 7 年度保険料率について 2. 令和 7 年度群馬支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について 3. インセンティブ制度における令和 5 年度実績等について 4. 全国健康保険協会の業績評価について
議 事 概 要 （主な意見等）	各議題につき事務局より資料に沿って説明。主な質疑応答内容は以下のとおり。 ○議題 1. 令和 7 年度保険料率について ■資料 1 令和 7 年度保険料率について 【学識経験者】 令和 6 年度から比べ保険料率が下がることは妥当である。 【被保険者代表】 令和 7 年度群馬支部の保険料率が 9.77%に下がることへの異論はない。下がる要因としては、医療給付費の影響が大きいのか。 《事務局》 支部の医療給付費を皆さまからいただいている保険料の基となる総報酬で除して算出している第 1 号保険料率が、保険料率の中で占める割合が高いため、影響は大きい。その第 1 号保険料率が下がったため、令和 7 年度群馬支部の保険料率が下がった。 【事業主代表】 令和 7 年度の保険料率が 9.77%となることは賛成であるが、積み上がり続ける法定準備金の水準について、引き続き審議が必要である。

【学識経験者】

令和 7 年度の保険料率が今年度より下がることは喜ばしいことであるが、血圧リスクの保有割合などが全国と比べ高いこと、特定保健指導実施率が全国下位であることなど、加入者の健康づくりの取組と直結していない実態がある。単に群馬支部の保険料率が下がった広報だけだと、加入者は健康度が上がったと誤った受け取り方をする可能性がある。そのような認識とならないよう、今後のアナウンスの仕方が重要である。

【学識経験者】

協会けんぽが行っている現役世代からの健康づくりへの取組や、保険料抑制に向けた保険者努力重点支援プロジェクトの取組などは評価できるが、コスト意識を持って取組んでいただきたい。

○議題 2. 令和 7 年度群馬支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

■資料 2-1 令和 7 年度群馬支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について

■資料 2-2 令和 7 年度全国健康保険協会事業計画（案）・予算（案）の概要

【学識経験者】

令和 7 年度から開始される電子カルテ情報共有サービスを活用した事業者健診データの取得推進により、事業者健診データ取得率の改善は図られるのか。

《事務局》

令和 7 年 4 月からすぐに始まるわけではないが、医療DXの施策の 1 つとして、まずはオンライン資格確認システムを利用している健診機関を対象に、電子カルテ情報共有サービス導入について推進していく。そのために健診推進経費の予算に新たに盛り込んでいる。既存の事業者健診のデータ取得に効果的であり、将来的には取得率が向上すると考える。

○議題 3. インセンティブ制度における令和 5 年度実績等について

■資料 3 インセンティブ制度に係る令和 5 年度実績について

【学識経験者】

特定保健指導の実施率が低い要因の 1 つとして、健診機関における当日実施体制が整っていないことを挙げているが、何か理由があるのか。

《事務局》

群馬支部でも健診機関に対し、特定保健指導の当日実施を依頼しているが、総合病院等では医療部門と比較すると健診部門の体制が弱く、実施時間が捻出できないとの報告もある。加入者の健康度向上の観点からも当日実施は有効であるため、引き続き健診機関へ特定保健指導の強化に向けたアプローチを進めていきたい。

【被保険者代表】

ジェネリック医薬品の使用割合が伸びている要因として、群馬支部が実施した若年層に対する利用促進の広報などの効果があるのではないかと考えるがどうか。

《事務局》

群馬支部として、昨年度は若年層へジェネリック医薬品使用促進リーフレットの送付などの啓発を実施しており、国としてもジェネリック医薬品の使用を推進しているので、複合的に効果が表れているものと考えている。

○議題 4. 全国健康保険協会の業績評価について

■資料 4 全国健康保険協会の業績に関する評価結果について（令和 5 年度）

特になし

特 記 事 項

- ・傍聴者 1 名
- ・次回は、令和 7 年 7 月開催予定